

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	浜松市・磐田市家庭教育支援チーム (呼称: 親ネットほたる)
②活動拠点	浜松市鴨江旧裁判所跡地
③活動範囲	浜松市内全域・磐田市内全域 (こども園・保育園・幼稚園・小学校・協働センター)等
④組織体制	<p style="text-align: center;">6 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本家庭教育学会認定家庭教育師 1名 ・心理療法研修所認定心理士 1名 ・静岡県家庭教育支援員 2名 ・静岡県子育てサポーターリーダー 6名 ・認定ゲートキーパー 2名 ・NP ファシリテーター 1名 ・浜松市家庭教育ボランティア 3名 ・浜松市中区主任児童委員 2名 ・元保護司 1名 <p>※NP ファシリテーターは、親教育支援の養成講座を修了し、認定された者をいい、「Nobody's Perfect“完璧な親なんていない”」というプログラムを使用し、保護者が自分にあった子育ての仕方を学ぶ手助けを行う。又、同年齢の子どもを持ち、共通の興味や関心を持つ人々と出会うことで、安心できる場を提供する役割を担います。</p>
⑤活動開始年度	平成 15 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 親ネットほたる 代表 川上玲子 (TEL) 053-457-1423 (E-mail) sophymamu@kyf.biglobe.ne.jp (携帯) 090-4796-5711

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input type="checkbox"/> その他()
---------------------	--

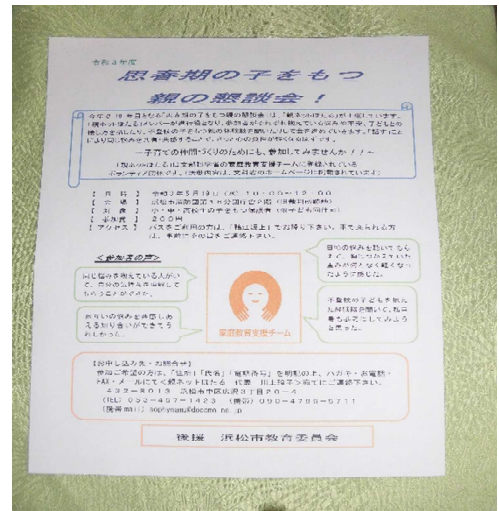
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上の子供を持つ保護者に対する活動を実施
----------------------------	---

【具体的な活動内容】

<思春期の子をもつ親の支援>

「思春期の子をもつ親の懇談会」(年5回開催)

- ・講師による思春期の子どもの特徴・対応等の話をもとに参加者が話し合う。
- ・思春期の子をもつ親同士がグループに分かれて話をし、聴くことにより悩みを共有し、寄り添い、心を柔らげ気持ちを楽しめる手助けをする。
- ・懇談や経験者の話を聴く中で、自分自身に合った子育てを自分自身で考えるよう気づいてもらう。



③活動内容

「学習会」(不定期に開催)

- ・携帯&スマホ講座
- ・子育て講座 「子どもの褒め方・叱り方」「家庭教育講座」
 「子どもの自己肯定感を高める子育てをしましょう」
 「思春期って何? 反抗期って何?」

<その他「講演会」活動>

- ・子どもが思春期や反抗期になって大きな問題を抱えて手遅れにならないために、子どもとの良好な関係を築き、親の役割や自己肯定感の高い子どもに育てるにはどうしたらいいのか・・・0歳からの家庭教育講座や親学講座等で、知識を持ってもらう啓発活動を行う。



企業内
 育休ママの子育て講座
 <楽しく子育て1. 2. 3>

浜松市教育委員会
家庭教育講座
＜子育て、ちょっといい話し！＞



・お父さんの子育て講座



企業内
お父さんの子育て講座
＜褒めて伸ばす、
楽しい子育て！！＞

＜親の居場所運営＞

「ママさんサロン」(年7回開催)

- ・思春期の子をもつ親の居場所の提供をする。
- ・親同士が自由に話し合える仲間作りの一助を担う。
- ・子育ての先輩としての失敗談や悩みを乗り越えた体験を話して、参考にしてもらう。

＜懇談会＞

- 1) 話を聴くことにより、悩みを抱えているのは自分一人ではない！！皆同じ悩みを持っている・・・このことを知ることで、悩みの共有共感ができ、参加者がお互いに元気をもらい気持ちを楽にして前に進めるようになっていく。
- 2) 話すことにより、胸につかえていた悩みを言葉にして表現することで、気持ちが落ち着きスッキリした表情が見られるようになる。
- 3) 子どもへの対応の仕方に悩んでいる親（反抗している子どもの接し方・不登校の子どもへの対応等）は、体験者の話を聴くことにより、自分にあった対応の仕方を自分自身で考え行動してみようと前向きになってくる。
- 4) 問題解決の糸口として、子どもを変えようと思うのではなく、自分自身が少しずつ変わろうと努力する参加者が多くなった。
- 5) 子どもを変えようとするのではなく、自分自身（親）の考え方、子どもへの接し方、コミュニケーションの取り方を変えようと行動に移す参加者が多くなった。

＜学習会＞

- 1) 外部から専門の講師を招き、悩みにあった講演をお願いすることにより、問題解決の糸口を掴み、自身の子育てを振り返り、自分にあった子育てに当てはめる事が出来るようになってきた。

④活動の成果
(活動実績がある
場合)

	<p>2) 参加者の知識を広める手助けが出来た。</p> <p><ママさんサロン></p> <p>1) 参加者同士が連絡を取り合い、お互い励まし合う状況が生まれている。</p> <p>2) 誰にも話せない方や、同じ悩みを持った仲間安心して話せる親の居場所ができている。</p> <p>3) 参加者同士が LINE グループで情報交換をして、話したいときに連絡を取り合える関係を築いている。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>